

## オオツノトンボを西宮市で採集

田 中 稔

オオツノトンボ *Protidricerus japonicus* MacLachlan の採集例は森田真澄氏の「オオツノトンボ神崎町で採集」(きべりはむし 第18巻 第2号)があるが、筆者も西宮市で採集しているので報告する。

lex., 兵庫県西宮市神原, 7・Ⅷ・1987, 田中 稔採集.

駐車場の水銀燈に飛来していたものを拾った。付近に本種が生息するような環境はないので、トラックの荷台にでもどこからか運ばれてきたものと思われる。

「原色昆虫大図鑑 Ⅲ, 昭和40年」には「本州・四国および九州の山地に生息し, 6月下旬から8月下旬まで獲られるが個体数は少ない。」とある。

本種については塚口茂彦氏に御教示をいただいた。ここにお礼申しあげる。

## 笹部で得た3種のウスバカゲロウ

森 和 夫

アリジコクは、変わった体形とスリバチを作ることで、子供の頃から興味を引く虫であった。その成虫であるウスバカゲロウは夜行性であるため、昼間は雑木林の枝などにひっそりと止まっている。

最近「砂丘のアリジコク」(松良俊明著, 思索社刊)を読んだところ、ウスバカゲロウの生活史についても詳しく調べられており、種類もいろいろといることを知った。

これまで筆者が目撃したものは普通種のウスバカゲロウばかりであったが、自宅近くの笹部(川西市)へ時々足を運んでいる内に、後記データのようにコマダラウスバカゲロウやカスリウスバカゲロウも採集することができた。谷間の狭い地域で3種も生息していることは珍しいと思われるので報告する。

①ウスバカゲロウ *Hagenomyia micans* MacLachlan